

Q：漢字を雑に書く子がとても多いです。漢字を正しい筆順で丁寧に書けるようにするためには、どうしたらよいですか。

A：筆順について、学習指導要領解説国語編では、第1学年及び第2学年の「書写に関する事項」の中で、次のように示されています。

「筆順」は、書き進む際の合理的な順序が習慣化したもののことである。学校教育で指導する筆順は、「上から下へ」、「左から右へ」、「横から縦へ」といった原則として一般に通用している常識的なものである。

従って、漢字の「正しい読み方」や「正しい使い方」と同じように「正しい筆順」という言い方が適するかどうかは、議論が分かれるところでしょう。しかし、教科書に取り上げられた筆順は、文字を速く、正しく、美しく書くための近道となります。積極的に身に付けさせたい能力の一つです。

## アドバイス：

### ①原則を教えましょう

学習指導要領に示されている「上から下へ」、「左から右へ」、「横から縦へ」が漢字を書く上での原則であることを理解させます。原則から外れたり、難しい筆順（「必」「飛」「母」など）については、授業の場で特別に取り上げて指導していくことが必要です。

### ②ひらがなとカタカナの筆順を確認しましょう

ひらがなとカタカナは、共に第1学年で習得すべき文字です。この時に筆順も含めた確実な習得を図ることが理想です。筆順が乱れている子の多くは、漢字ばかりでなく、ひらがなやカタカナの筆順も乱れている様子が多く見られます。画数の少ないひらがなやカタカナを見直すことで、筆順に対する意識を持たせていきましょう。

### ③新出漢字の学習場面で、筆順も確認させましょう

特に高学年では、新出漢字を全体で指導していく時間が十分にとれないこともありますが、意図的に筆順を取り上げることで、子どもたちの意識も高まります。原則と違う筆順である漢字の場合や、難しい筆順である漢字の場合は、特に丁寧に指導していきましょう。

### ④板書の筆順に気を付けましょう

子どもたちは、毎日先生が黒板に書く文字を見て学んでいきます。正しい文字を書かなければならないことは勿論、丁寧に書くことも心掛けていきましょう。そして、子どもたちに筆順を身に付けさせていくために、まずは教師自らが自分の筆順を見直し確実に習得しましょう。子どもたちは、毎日よい見本を見ることとなります。

※ 筆順を習得させたり、矯正させたりするには、子どもたちの意識をどう高めていくかが大切です。教科書の筆順に沿って書くと、正しく覚えやすい、美しい文字が書ける、速く書ける、などを実感させていくことが有効でしょう。